

2014年9月30日
パナソニック株式会社
フィコサ・インターナショナル S.A.

パナソニックとフィコサ・インターナショナル S.A.、資本業務提携に合意

～電子ミラー事業を皮切りに、包括的協業を推進～

パナソニック株式会社(本社:大阪府門真市、代表取締役社長:津賀一宏、以下、パナソニック)とフィコサ・インターナショナル S.A.(本社:スペイン バルセロナ、CEO:ハビエル・プジョル、以下、フィコサ)は、本日、資本業務提携のための出資契約を締結しました。資本提携の一環としてパナソニックは、フィコサによる第三者割当増資(自己株式の譲渡を含みます)を引受け、また、フィコサの最大株主であるフィコサ・インバージョン社が保有するフィコサ株式の一部を譲り受けることで、発行済株式総数の49%を取得する予定です。なお、両社は将来的な資本、業務、及び技術面での提携強化について検討を継続していきます。

パナソニックとフィコサは、本資本業務提携により、両社の保有する映像技術・ノウハウとパナソニックの持つ革新的な映像技術、そしてフィコサの保有するミラー技術および実績を融合し、快適で安全な運転をサポートする電子ミラー事業の早期立ち上げを目指します。

本提携には、パナソニックが、フィコサが保有する欧米自動車メーカーへの強い販売力を活用し、ディスプレイオーディオなどの車載マルチメディア機器および車載用デバイスの事業拡大を加速させるクロス販売活動が含まれます。また、フィコサは、グローバル、特に日系自動車メーカーにおけるパナソニックの強いプレゼンスを活用し、カメラ洗浄システム^{※1}、テレマティクス制御ユニット^{※2}、電子シフター^{※3}などの特徴ある製品の販売を促進していきます。

パナソニックの伊藤好生代表取締役専務は、「パナソニックは、創業100周年である2018年度に、車載関連事業2兆円の達成に向けた成長戦略の中で、『快適』『安全』『環境』の各領域において不可欠なサプライヤーとなることを目指しています。これまで、ディスプレイオーディオやカーナビゲーションシステムを中心とした『快適』領域、各種センサーを中心とした『安全』領域、車載リチウムイオン電池を中心とした『環境』領域の事業拡大に取り組んできました。今般のフィコサとの資本業務提携が、今後の成長分野である次世代コックピットシステムに不可欠な『快適』と『安全』の融合とさらなる進化を加速させ、まずはシナジーの成果として電子ミラー事業の早期立ち上げを実現するとともに、将来的には先進運転支援システム(ADAS:Advanced Driver Assistance System)分野参入への橋頭堡となるものと確信しています」とコメントしています。

フィコサのハビエル・プジョル CEO は、「本提携により、ここ数年重点的に投資を行ってきました安全や通信、e モビリティなどの新しい技術領域において、フィコサの市場におけるプレゼンスが強固になるものと考えています。両社の協業は、ノウハウや技術を補完するだけでなく、地域的なシナジーをももたらします。また、両社の強みが組み合わさることでより上質な製品やソリューションを提供することができ、当社顧客にとっても非常に有益なものとなります」とコメントしています。プジョル氏は

また、長期的な価値創出に向け、お互いの社風や価値観を上手く適合させていきたいという点も強調しています。

パナソニックとフィコサは、関係当局の承認等を経て、2015年3月末までに本資本業務提携を開始することを目指します。

※¹ カメラ洗浄システム: カメラの視界をさえぎる汚れ等を水や風圧で除去する機構

※² テレマティクス制御ユニット: 車両と車両、車両と外部との無線通信を可能とする通信ユニット

※³ 電子シフター: 車両の変速機を電氣的に操作するためのデバイス

パナソニック株式会社について

パナソニック株式会社は、エレクトロニクス技術の開発と製品化を通じて住宅、非住宅、モビリティ、パーソナルユースの4つの分野で顧客にソリューションを提供している世界的な大手企業です。1918年の創業以来グローバルに事業を拡大し、2014年3月期の連結売上高は7兆7,365億円と、現在では世界各国に500社を超えるグループ企業を展開しています。社内で生まれる様々な技術革新の相乗効果による新しい価値創造を追求し、お客様一人ひとりにとってのより良い暮らし、より良い世界 ～「A Better Life, A Better World」を提供するべく取り組んでいます。

URL: <http://panasonic.co.jp/>

フィコサ・インターナショナル S.A.について

フィコサ・インターナショナル S.A.は、スペインのバルセロナに本社を置く、自動車用のシステムや部品の研究、開発、生産およびマーケティングを行うグローバル Tier1 サプライヤーです。1949年に創業、現在では、従業員約8,000名、欧州、北米、南米、アジアなど全世界18カ国に拠点を有しており、2013年12月期の連結売上高は9.25億ユーロでした。ミラー事業は同社最大の主力事業であり、サイドミラーでは世界第3位のシェアを誇り、世界中の自動車メーカーに認められています。

URL: <http://ficonsa.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 広報グループ

電話: 06-6908-0447(大阪) / 03-3574-5661(東京)

Ficonsa International S.A. Communication Department

Phone: +34-93-2163443 (Barcelona - Spain)

<参考>

【当事者の会社概要】

	パナソニック (2014年3月31日現在)	フィコサ (2013年12月31日現在)
(1)名称	パナソニック株式会社	Ficosa International S.A.
(2)所在地	大阪府門真市大字門真 1006 番地	Gran Via Carlos III, 98, Barcelona, Spain
(3)代表者の役職・氏名	取締役社長 津賀 一宏	President, Jose Maria Pujol Artigas CEO, Javier Pujol Artigas
(4)事業内容	電気・電子機器等の製造・販売	自動車向けメカトロニクス、電子システム等のエンジニアリング・製造・販売
(5)資本金	258,740 百万円	21,747 千ユーロ
(6)設立年月日	1935 年 12 月 15 日	1949 年創業。Ficosa International S.A. としては 1976 年 7 月 19 日設立
(7)発行済株式総数	2,453,053,497 株	723,706 株
(8)決算期	3 月 31 日	12 月 31 日
(9)大株主および持株比率	<p>日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 4.68%</p> <p>日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 4.48%</p> <p>STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 4.04%</p> <p>THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10 3.21%</p> <p>日本生命保険相互会社 2.97%</p> <p>(2014年3月31日現在)</p>	<p>Ficosa Inversión, S.L.(直接および間接投資を含む) 95.21%</p> <p>(2013年12月31日現在)</p>